

三井住友海上九条の会たより NO32 2019.8.26

厳しい暑さが続いておりますが、皆さま、お健やかに過ごしてでしょうか？
涼風が待ち遠しい日々です。体調を整え秋の暮らしと闘いに備えましょう。



“参議院選挙から秋の国会へ”

- 7月の参議院選挙では改憲勢力、自、公、維新が議席3分の2をわりこむ結果となった。3分の2を阻止した直接の要因は「市民と野党の共闘」が安倍改憲反対など13の共通政策を掲げて32の一人区すべてで奮闘、善戦による成果であった。同時にこの前進と成果は野党の各党に対しても今後の共闘推進への展望を示すと共に私達の9条改憲反対の運動にも力を与え励ますものでもあった。
- 他方、政権側安倍首相は開票直後の記者会見で開口一番「我々は国民からの力強い信任を得た」と発言、議席の3分の2喪失にもかかわらず「この選挙の結果は(9条改憲などの)憲法改正について“少なくとも議論を行うべきである”というのが国民の審判だ」「野党はこの議論に積極的に参加すべきだ」と発言、そしてまた「令和の時代にふさわしい憲法改正案の策定に向かって強いリーダーシップを発揮して行く決意だ」と述べ 2021年まで自らの「任期中の改憲」の企みに強い執念を見せた。
- だが、民意の大勢は「改憲」などは求めている。これは明白な事実である。投票日直後のマスコミ調査でも上記の安倍首相の発言は全くの見当違いであることは明白だ。以下マスコミ3社の調査数字を具体的に見てみよう。(下記3社の世論調査は投票日直後の7/22,23に実施)
 - 「朝日」の世論調査では「安倍首相に一番力を入れてほしい政策」について5項目を尋ね「年金などの社会保障」が38%、「憲法改正」は3%であった。
 - 「読売」の世論調査では「今後安倍政権に取り組んでほしい政策」6項目から選択「年金など社会保障」は41%『憲法改正』は3%という結果。
 - 共同通信の世論調査では「安倍内閣が今後優先して取り組むべき課題」8項目につき2つ迄回答できるとし「年金、医療、介護」が48.5%、「憲法改正」は6.9%であった。
- 2年前の5月、安倍首相は両院とも議席3分の2を占める中で「2020年を新しい憲法が施行される年にしたい」と発言、例の「9条の2を新設“自衛隊“を明記する」方針を打ち出した。だが彼らは今日に至るまで改憲発議は出来なかった。これは「安倍9条改憲 NO!3000署名」を軸とする市民の運動や「9条の会」の活動、「憲法審査会」を公正に運営させた野党国会議員の働き、さらには「市民と野党の共闘」などによってこの策動を抑え込んできた成果だ。

今度の選挙で改憲勢力は3分の2を失ったとは言えなお自、公、維新で81議席を獲得している。秋の国会に向け野党分断による3分の2議席回復の狙いも公言している。秋に向けて安倍改憲の企図を止めるか否かの山場を迎えている。「3000万署名」などを武器に市民一人ひとりの草の根からの取り組みが求められている。安倍改憲反対の各団体、我々のような『9条の会』などの市民の運動、そして野党の共闘の力などの真価が試される時だと言えよう。

2019・8・5 KT

損保九条の会 生保九条の会 合同講演会のお知らせ(参加の方、中澤へご連絡を 090 4725 2192)

10月26日(土) 13:30分より 北とびあ つつじホール 詳しくはチラシをご覧ください。

終了後 北とびあ直近 「さかなや道場」で 懇親会をやりますので 奮ってご参加ください。

三井住友海上九条の会 (事務局) 中澤気付 〒331-0823さいたま市北区日進町2-866-3
世話人・呼びかけ人 岩越 一色 大石 折笠 川上 谷 土田 中澤 蓮沼 伴 翠川 山本